

やまがた緑環境税を活用した取組み

【平成28年度荒廃森林緊急整備事業の取組み事例】 置賜総合支庁

| | | | | | |
|------|--|----|----|------|------|
| 整備区分 | 長期育成林整備 【 間伐・作業道開設 】 | | | | |
| 整備箇所 | 南陽市大字金山字橋ノ沢 地内 | | | 事業主体 | 山形県 |
| 整備面積 | 16.6ha | 樹種 | スギ | 林齢 | 59年生 |
| 整備内容 | <p>当該箇所は、間伐等の施業が適期に行われなかったため、密度が高く、著しく成長の悪い不良木が目立つ状態であった。</p> <p>このため、適正な密度となるよう間伐を行うことで、森林の公益的機能の維持増進を図った。また、個人所有森林を集約して森林作業道を開設し、間伐材を搬出することで資源の有効活用を行った。</p> | | | | |



整備前



整備後

| | | | | | |
|------|---|----|----|------|--------|
| 整備区分 | 長期育成林整備 【 間伐 】 | | | | |
| 整備箇所 | 小国町大字松岡字狝沢 地内 | | | 事業主体 | 山形県 |
| 整備面積 | 11.4ha | 樹種 | スギ | 林齢 | 46年生ほか |
| 整備内容 | <p>当該箇所は、間伐等の施業が適期に行われなかったため、造林木が過密に生育し、成長の悪い不良木や冠雪害等による幹折れが目立つ状態であった。</p> <p>このため、適正な密度となるよう間伐を行うことで、森林の公益的機能の維持増進と今後の健全な成長が見込まれる。</p> | | | | |



整備前



整備後

やまがた緑環境税を活用した取組み

【平成28年度荒廃森林緊急整備事業の取組み事例】 置賜総合支庁

| | | | | | |
|------|--|----|----|------|------|
| 整備区分 | 長期育成林整備 【 間伐 】 | | | | |
| 整備箇所 | 白鷹町大字畔藤字大窪 地内 | | | 事業主体 | 山形県 |
| 整備面積 | 1.5ha | 樹種 | スギ | 林齢 | 50年生 |
| 整備内容 | <p>当該箇所は、下刈りや除伐、間伐といった施業が行われていなかったため、密度が高く、不良木や枯損木が目立つ状態であった。</p> <p>このため、適正な密度となるよう間伐を行い、スギ林として維持することで、森林の公益的機能の維持増進を図った。</p> | | | | |



整備前



整備後

| | | | | | |
|------|--|----|----------|------|---------|
| 整備区分 | 里山林再生 【 抜き切り（マツ・ナラ枯れ被害木処理） 】 | | | | |
| 整備箇所 | 南陽市大字宮内字向山 地内 | | | 事業主体 | 山形県 |
| 整備面積 | 21.8ha | 樹種 | アカマツ・ナラ外 | 林齢 | 35～74年生 |
| 整備内容 | <p>当該箇所は、『秋葉山』で行楽地として多くの人に親しまれると共に山荘や神社等の史跡が維持されている広葉樹二次林であるが、森林病虫害による枯損木が急増し、このまま放置すれば倒木等による二次被害が懸念される状態であった。</p> <p>このため、森林病虫害等による枯損木の抜き伐りを行うことで、生活環境の保全と里山林の早期再生を図った。</p> | | | | |



整備前



整備後